

体验教室では和ろうそくの歴史や特徴、こだわり、魅力などに触ることができます。
渡辺邦子女性局長

職人のこだわりと思いが詰まった和ろうそく 有限会社 中村ローソク

明治20(1887)年創業の和ろうそく専門店。和ろうそくは植物性のろうが原料です。有限会社 中村ローソクでは、米ぬかろうとパームヤシろうをブレンドしたろう、ハゼノキの実から採ったハゼろうの2種類を使用して、1本1本手作りしています。絵付師が丹念にろうそくに手描きした絵ろうそくは、インテリアにもなり、お土産としても人気です。

DATA

京都市伏見区竹田三ツ杭町57-8 ☎ 075・641・9381
時 9時～17時30分 休 日曜、祝日、第2・第4土曜
<https://www.kyorousoku.jp/>

50年法要などで使われる「一貫目蠟燭（いつかんめろうそく）」。「一貫目蠟燭」を作った時は必ず1本手元に見本を残し、次世代に製法を伝えてきました。次の注文が50年後だと教えられる人がいないかもしれませんから。和ろうそくは煤（すす）が出にくく、火が消えにくくなど良さがたくさんあります。一方で和ろうそく職人や原料であるハゼ農家は減少しています。和ろうそくを未来につなげるために、ハゼノキの栽培や和ろうそくのPRなど、さまざまなことに積極的に関わる、取り組んでいます」と代表取締役の田川 広一（たがわひろかず）さん（写真右）



仏壇に供える花の代わりに使われてきた絵ろうそく。絵付師に好みの絵のオーダーも可能



ろうそく作り全般を学べる教室（3,850円）と、絵付けのみ体験できる教室（2,750円）がある

伏見のおすすめスポット

伏見 18蔵元の名酒が勢ぞろい 伏水酒蔵堂

伏見酒造組合に属する18蔵元の銘柄を取り扱う日本酒のセレクトショップ。店内に5台設置されたサーマルタンク（清酒専用密閉型冷蔵タンク）には、伏水酒蔵堂のために蔵元が醸造した日本酒が入っています。これを好きな量だけ購入できる量り買いが評判です。

DATA
京都市伏見区納屋町141
☎ 075・748・6080
時 11時～20時 休 無休
<https://sakagurado.com/>



納屋町商店街
公式キャラクター
「なやまっち」

量り買いは自分の手で注ぐ体验型。容器は180ml、300mlの小瓶から1500mlに入るパウチまで用意されている



「伏水酒蔵堂のある納屋町（なやまち）商店街は、豊臣秀吉（とよとみひでよし）の伏見城築城と同時に誕生しました。約50の個性的なお店が軒を連ね、「ぶらり歩き」も楽しめます」と渡辺女性局長。「商店街には当店が扱うお酒と一緒においしい料理を味わえる『伏水酒蔵小路』もあります。そこでお酒を楽しみながらお気に入りを見つけ、当店でお目当ての1本を探すのもおすすめです」と店長の川岸龍平（かわぎしりゅうへい）さん（写真左）

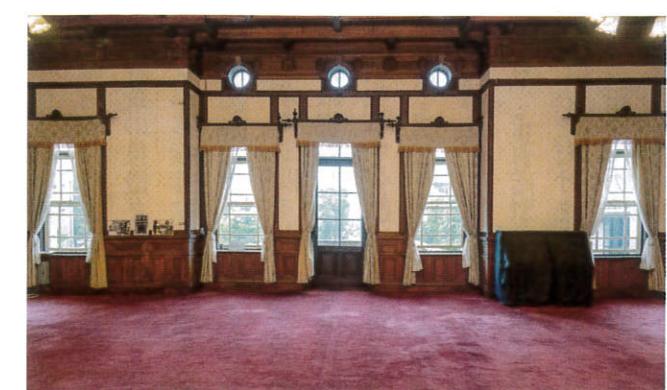


“開かれた府庁”のシンボル

京都府庁旧本館

竣工は明治37(1904)年。現在も執務室や会議室として使われ、創建時の姿をとどめる現役の官公庁舎として日本最古を誇ります。竣工100周年となる平成16(2004)年に国的重要文化財に指定されました。“開かれた府庁”として正庁、旧知事室、旧食堂、旧議場は無料公開され、趣向を凝らした内装を間近に見ることができます。今後は旧本館の雰囲気を味わいながらくつろげるカフェが設置される予定です。

DATA
京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町
【公開】日 火曜～金曜、第1・第3・第5土曜（祝日、年末年始を除く）
時 10時～17時 料 無料 ※10人以上での見学は事前予約を
☎ 075・414・5432
【京都府庁旧本館案内所（NPO法人 京都観光文化を考える会・都草）】



建物の外観はルネサンス様式に属する

正庁は公式行事や公賓の接遇などを行なう特別室。大正天皇、昭和天皇即位の礼期間中は、京都府庁が臨時内閣事務所となり、正庁で閣議が開催された

京都府連女性局
おすすめスポット

文化庁が移転した京都府のおすすめスポットを京都府連女性局長、宮下友紀子女性局副局長、谷口みゆき女性局次長が紹介します。